



當山四世重興

大道昌弘大和尚本葬儀

令和五年二月八日（水） 午後五時 大夜

令和五年二月九日（木） 午前十時 本葬

曹洞宗 忍法山 大宥寺



二月八日(水) 差定

午後四時 御寺院到着

午後五時 鎖龕佛事

導師 龍徳方丈

殿鐘三会

七下鐘導師上殿

開式の辞

拈鎖子

拈香法語

献茶湯

大悲咒

回向

普同三拜

導師退堂

散堂

大夜

導師 清泉方丈

殿鐘三会

七下鐘導師上殿

大夜念誦(十仏名)

拈香法語

献蜜湯

普同三拜

読経

仏遺教経(八大人覚)

焼香

回向

普同三拜

導師退堂

散堂

引き続き

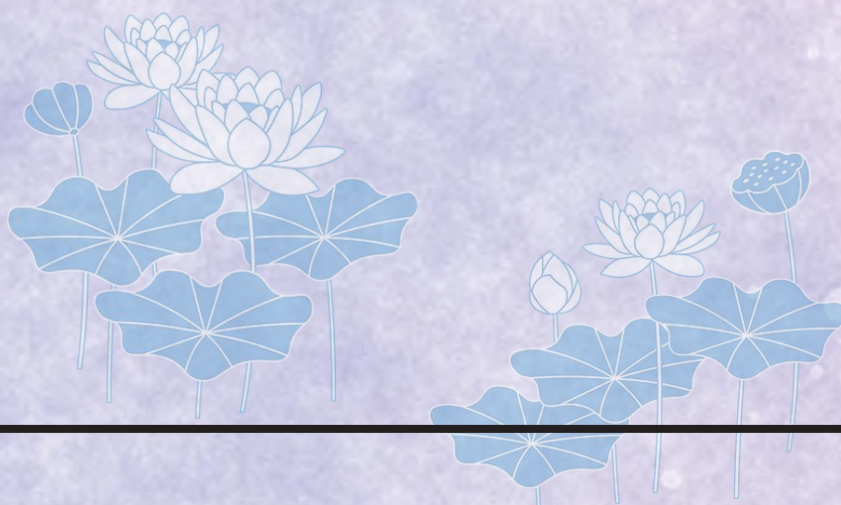
説教

了つて

遺弟挨拶

葬儀委員長挨拶

閉式の辞



二月九日(木) 差定

午前九時 御寺院到着

午前十時 起龕佛事

導師 観音方丈

殿鐘三会

七下鐘導師上殿

開式の辞

拈香法語

起龕念誦

大悲咒

鼓鉦三通

出喪

維那佛名挙唱

一称毎に鼓鉦

遶匝三回

鼓鉦三通

導師退堂

小鐘一会中

両山御専使上殿

五佛事師七下鐘上殿

追贈式

大本山總持寺監院

大寶楼阁陀羅尼(一遍)

鼓鉦三通

弔辞

大本山永平寺御専使

大本山總持寺御専使

宗務所所長

教区長

檀信徒代表

弔電

奠湯佛事

導師

禅徳方丈

喪司請問訊

導師進前

献湯

拈香法語

歸位

奠茶佛事

導師

龍興東堂

喪司請問訊

導師進前

献茶

拈香法語

歸位

秉炬佛事

大導師

本寺大方丈

喪司 小師請三拜

拈法炬

拈香法語

山頭念誦(十仏名)

読経(参・寶)

焼香

回向

鼓鉦三通

佛事師退堂

散堂

遺弟挨拶

葬儀委員長挨拶

閉式の辞  
出棺  
主喪比丘 崇道謹白



隨喜御寺院名簿（順不同・敬称略）

御佛事師

秉炬佛事師 中央寺住職 熊谷忠興 老師

奠茶佛事師 龍興寺東堂 高垣義人 老師

奠湯佛事師 禅徳寺住職 柿崎哲雄 老師

起龕佛事師 観音寺住職 金丸孝道 老師

鎖龕佛事師 龍徳寺住職 有田弘宗 老師

大夜導師 清泉寺住職 田村保治 老師

御專使

永平寺御專使 養福寺住職 河村康秀 老師

總持寺御專使 薬王寺住職 田中清元 老師

大本山總持寺監院 渡辺啓司 老師

宗務所長

全久寺 住職

白井應隆

教区长

南禅院 住職

林 鐵漢

先導師

来広寺 住職

落合順厚

先導師

常禅寺 住職

目黒全章

尊宿

正林寺 東堂

小泉裕道

尊宿

瑞現寺 東堂

齋藤義則

尊宿

天龍寺 住職

清水勝美

尊宿

大昌寺 住職

佐藤照禅

尊宿

禅龍寺 住職

万年守道

尊宿

正眼寺 住職

笠井俊光

尊宿

光明寺 住職

藤原重孝

都管

龍興寺 住職

高垣晶敬

都管

含笑寺 住職

神谷俊英

法要解説

禅林寺 住職

日比健士

両班

浄国寺 住職

高橋浄英

両班

瑞現寺 住職

齋藤正憲

両班

光徳寺 住職

齋藤徳光

両班

大覚寺 住職

荒木道宗

両班

峯光寺 住職

小野隆伸

両班

龍仙寺 住職

清水常雄

両班

龍徳寺 住職

奥山千成

両班

祥龍寺 住職

長谷泰広

両班

玉詠寺 住職

田中章寛

維那

真龍寺 住職

飯田整治

堂行

禅徳寺 副住職

柿崎孝彰

副堂・送迎

高正寺 住職

早川孝雄

詠讚師

天童寺 住職

大熊眞龍

秉炬師侍者

天瑞寺 住職

日比英償

秉炬師侍香

中央寺 隨身中央寺随

侍者

清泉寺 副住職

田村文英

侍者

薬師寺 住職

小林良浩

知殿長・喪司

北大寺 住職

近藤晃由

知殿・喪司

光明寺 副住職

藤原孝徳

知殿

龍松寺 住職

池田正賢

殿行

薬王寺 副住職

田中基裕

殿行

峯光寺 副住職

小野隆見

殿行

正眼寺 副住職

笠井宏真

内寮知庫長

豊龍寺 住職

宮田任宏

内寮・知庫

禅聖寺 住職

齋藤秀光

内寮・知庫

龍仙寺 副住職

清水碩峰

主喪

本浄寺 住職

佐藤崇道



# 大道昌弘大和尚



令和五年二月三日

午後二時三十八分 遷化

法齡 五十八歳

世壽 八十二歳

## 遺偈 (ゆいげ)

～ご自身の境涯を振り返って残した最期の言葉～

### 意味

七顛八倒の苦しみはまさに石火電光を浴びるようなものであろう。

人生は苦なりの教法を踏まえて、私は只々黄泉への道を一途に歩み、一切の物を捨ててひたすら仏陀の元に帰る。

七顛八倒 (しちてんぱつとう)  
石火電光 (せつかでんこう)  
黄泉一路 (こうせんいちろう)  
空手還郷 (くうしゅげんきょう)



# 経歴

誕辰 昭和十五年十二月十六日  
 得度 昭和三十九年二月十五日  
 伝法 昭和四十一年一月二十日 静岡県第一三〇三番 大洞院 浅野哲禅の室にて  
 教師 昭和四十六年十月二十五日二等教師補任  
 昭和六十年一月二十四日 一等教師補任  
 昭和六十年八月五日 正教師補任

平成八年二月 権大教師補任

平成十七年六月 大教師補任

昭和五十五年六月 許状を受く

北海道第三二七番大宥寺首先

北海道第三二七番大宥寺において初会修行

昭和五十六年 夏前 北海道第三二七番大宥寺において再会修行

平成二年 冬前 緋恩衣被着特許

昭和六十一年十月 黄恩衣被着特許

平成八年四月 赤紫恩衣被着特許

平成十七年八月 末寺禅宥寺（北海道四九〇番）建立

## 宗門歴

寺院建立

昭和六十二年六月 大本山總持寺地方副監院拜命

昭和六十三年四月 大本山總持寺「報恩大授戒会」焼香師拜命

平成四年四月 嶽山会北海道支部事業部長（五期十年）

平成七年五月 北海道第一宗務所第八教区長（三期十二年）

平成十二年四月 總和会北海道支部副支部長（五期十二年）

平成十三年三月 北海道教区長会副会長（二期六年）

平成十四年九月 大本山永平寺「高祖七五〇回忌大遠忌」焼香師拜命

平成十五年四月 北海道第一宗務所所会議長（一期四年）

平成二十三年六月 大本山總持寺顧問（十年）

平成二十七年十月 大本山總持寺「峨山禪師六五〇回大遠忌」焼香師拜命

## 社会歴

昭和三十八年四月 札幌市役所に奉職（十四年四力月）

昭和六十年五月 札幌中部仏教会会長（四期八年）

平成三年八月

平成九年六月 札幌市仏教連合会副会長（二期五年）



▲平成14年 道元禪師750回大遠忌焼香師として



▲平成14年 道元禪師750回大遠忌焼香師として



▲平成27年 峨山禪師650回大遠忌焼香師として



▲平成18年 団参旅行水前寺公園にて



▲平成21年 団参旅行



# 本葬儀説明

## 鎖龕佛事

龕に鎖をかけると書いて、棺を固く閉ざす儀式です。

## 大夜諷經

一般的なお通夜の儀式です。

## 起龕佛事

出棺にあたり葬列をなし、棺を葬場へ移す儀式です。

## 奠湯佛事

永の旅に赴くにあたり蜜を溶いたお湯を差し上げる儀式です。

## 奠茶佛事

生前お好きであった香高いお茶をおすすめする儀式です。

## 秉炬佛事

法炬を以って靈棺に点火する火葬の式です。

## お礼のことば

今般 當山四世重興大道昌弘大和尚の本葬儀に際しましては、ご鄭重なるご弔意ならびに過分なるご芳志を賜り且つ、ご繁忙のところご会葬ご焼香くださいまして、誠に有難うございます。ここに生前のご厚誼ご芳情に対し、心より陳謝申し上げます。

尚、混雑に取り紛れ、不行き届きの点多々ありましたこと、お詫び申し上げます。

本来ならば早速にお伺いしてお礼申し上げますべき処でございますが、略儀ながら書面をもちまして謹んでお礼旁々ご挨拶申し上げます。

令和五年二月九日

忍法山 大宥寺